


募集情報

▶ オトノマド ①2025/10/13㊟、②10/18㊟

宮内康乃芸術監督がナビゲートする企画第2弾。



世界のさまざまな音楽や芸能を紹介するシリーズです。「音の窓」を通して、多様な表現に出会い、ノマド(遊牧民)のように世界を旅してまわりたい。
会場 アトリエ 参加費 500円(※3歳未満のお子様は保護者1人につき1人まで無料)
申込 WEB、窓口、電話 (申込受付中)


①「音で訪ねるマレーシア」10/13㊟ 15:00～17:00

ゲストにマレーシア伝統芸能の専門家、上原亜季さんをお迎えし、宮内芸術監督が東南アジア諸国を旅した体験談や映像資料を交えてお送りします。マレーシアの音に耳を傾けて、多民族が織りなす独特の文化を持つ「マレーシア」の魅力に触れてみませんか。
ゲスト 上原亜季(マレーシア伝統芸能の専門家)

②「はじめましてのアラブ」10/18㊟ 15:00～17:00


アラビア語を話す国々で奏でられるアラブの音楽。アラブ伝統の弦楽器「ウード」を中心に、西洋音楽とは異なる響きやリズムに出会ってみませんか?ウード演奏家の第一人者、常味裕司さんに、演奏やワークショップを通じてアラブの音楽への入門を導いていただきます。
ゲスト 常味裕司(ウード奏者)・HAMA(レク)・山宮英仁(ネイ)

▶ わ・つむぎラボ「つむぎ音遊びしよう」 10/26㊟ 10:30～12:30



誰もが持っている自分らしい声やからだで、お互いの音を重なり、対話してみたり、周りの音によく耳を澄ませてみたり。毎回いろんなことを、参加者の皆さんとアイデアを出し合いながら試してみるワークショップです。音楽やダンスの経験がなくても大丈夫。ぜひ日常のリフレッシュタイムとしてお気軽にご参加ください。
会場 展示・会議室 進行 宮内康乃 対象 小学生から大人まで 定員 20名程度
参加費 無料 申込 WEB、窓口、電話 (申込受付中)

▶ こどもステーション☆キラリ 10/13㊟、11/22㊟ 10:00～12:00




劇場で遊ぶひと、あつまれ～!
小学生のこどもたちが、キラリ☆ふじみに集まり、テーマを元に自由に遊ぶ「ここにしかないあそび場」。演劇やダンスや音楽の分野で活躍するアーティストと一緒に、声を出したり、からだを動かしたり、演劇をつくり、工作をしたり…こどもたちの中から生まれたアイデアを形にしていきます。
会場 展示・会議室 ほか 進行 宮内康乃、大道朋孝、仁科幸、ほか 対象 小学生
定員 20名(先着順) 参加費 無料 申込 開催月前月の10日より・WEB、電話、窓口

Calendar

※9月1日現在、主催事業を含めた最新情報は、毎月10日発行のキラリカレンダー2ヶ月掲載/誌面・HPをご確認ください。

10	4㊟ 富士見市国際交流フォーラム2025 世界の「とびら」 049-257-6352 [主催:富士見市・富士見市教育委員会・富士見市国際友好協会/問合せ:市文化・スポーツ振興課]
	5㊟ 第4回定期演奏会 080-5040-6669 [アンサンブルレゾ 中瀬]
	11㊟ 第37回富士見市三曲協会 定期演奏会 090-9859-1130 [富士見市三曲協会 谷内田]
	14㊟-15㊟ 休館日
	18㊟-19㊟ 小品盆栽展 049-251-4481 [富士見小品盆栽会 山賀]
	24㊟-25㊟ 休館日
11	1㊟-3㊟ 第62回 富士見市民文化祭「展示発表」 049-257-6352 [富士見市民文化祭実行委員会事務局 市文化・スポーツ振興課]
	3㊟ 第62回 富士見市民文化祭「芸能発表」 049-257-6352 [富士見市民文化祭実行委員会事務局 市文化・スポーツ振興課]
	4㊟-7㊟ 第25回かがやき文化祭 049-254-3156 [全日本年金者組合富士見支部 熊田]
	8㊟ 混声合唱団けやき第26回定期演奏会 049-252-1481 [混声合唱団けやき 金子]
	8㊟ フェリーチェストリングスオーケストラ・こどもアンサンブル演奏会 090-8892-0391 [フェリーチェ弦楽アカデミー 武井]
	9㊟ 第62回 富士見市民文化祭「民謡大会」 049-257-6352 [富士見市民文化祭実行委員会事務局 市文化・スポーツ振興課]
	10㊟ 第34回ふじみ福祉フォーラム21 049-252-7102 [主催:ふじみ福祉フォーラム21実行委員会/問合せ:市福祉政策課]
	12㊟-16㊟ 第62回 富士見市民文化祭「市民美術展」 049-257-6352 [富士見市民文化祭実行委員会事務局 市文化・スポーツ振興課]
	13㊟ ジェイコブ・コーラー ピアノコンサート 03-3226-9999 [MIN-ONインフォメーションセンター]
	16㊟ 第62回 富士見市民文化祭「市民音楽祭」 049-257-6352 [富士見市民文化祭実行委員会事務局 市文化・スポーツ振興課]
	17㊟-18㊟ 休館日
	24㊟ 第19回なかよしコンサート 090-6038-3501 [カノンピアノスクール 鈴木]
	24㊟-30㊟ 「風景画 春・夏・秋・冬」(作品展示) 049-264-4067 [上村]
	24㊟-30㊟ 小田正人油彩画展(ヨーロッパ風景と人間モタリナク) 080-4294-1789 [小田]
	29㊟ あおぞらハーモニー吹奏楽団 Aozora_harmony2009@yahoo.co.jp 第17回ファミリーコンサート「Music Box」 [あおぞらハーモニー吹奏楽団 高杉]

▶ ランチタイムinカスケードdeコンサート 12:10～12:50(予定)



館の中央に位置し、開放的な空間であるカスケードエリアで、平日のランチタイムにお届けするコンサートです。お昼のひとときを、音楽とともにごゆっくりお過ごしください。
会場 カスケード
料金 無料(申込不要) 出演 10/8㊟ 高瀬裕樹【ピアノ】
YouTubeにて各ステージのアーカイブ映像をご覧ください。>

大規模改修工事に伴う長期休館のお知らせ

休館期間

全館:2025年12月1日(月)～2027年1月4日(月)
メインホールのみ:2025年12月1日(月)～2027年5月31日(月)

利用再開

2027/1/5(火)より マルチホール、展示・会議室、展示室、アトリエ、スタジオ
2027/6/1(火)より 全館利用再開

※工事の進捗状況により、休館期間が変更になることがあります。

工事に関すること／富士見市文化・スポーツ振興課 TEL 049-257-6352

2027年1月分マルチホール及び展示系施設(営利目的を除く展示目的利用)の施設貸出初日受付は、
「2026年1月5日(月)9:00より当館窓口にて予約開始」を予定しております。

長期休館中のお問い合わせについて

【電話】049-268-7788

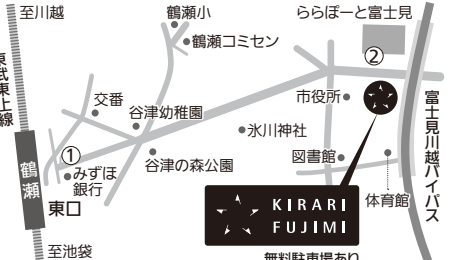
平日(土日、祝日をのぞく) 9:00～18:00

年内は12月26日(金)まで。
年始は1月5日(月)開始を予定しています。
2026年1月より、
月に2日程度、窓口業務も予定しています。

※工事の進捗状況により、受付日時等は変更になることがあります。最新情報は、当館ホームページにてお知らせいたします。

内容に変更が生じる場合がございます。最新情報はキラリ☆ふじみまでお問い合わせいただくか、当館ホームページ等をご確認ください。
チケット購入・参加申込 事務局窓口 [9:00～21:00] (休館日を除く) オンライン <https://www.kirari-fujimi.com> [24時間受付] 電話 049-268-7788 (9:00～22:00 休館日を除く)
※発売初日は、窓口9:00、オンライン10:00、電話は翌日9:00より。

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ



〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬1803-1 開館時間/9:00～22:00(休館日除く)
<https://www.kirari-fujimi.com>
TEL.049-268-7788 FAX.049-268-7780

施設利用料及びチケット代金の納入は21:00まで。
施設を初めてご利用の場合には事務局窓口またはお電話にてお問合せください。

①鶴瀬駅東口ー6分ー②ららぽーと富士見
アクセス＝東武東上線「鶴瀬駅」東口より東武バス(バス約6分/徒歩約20分)
※「ららぽーと富士見」行きバスは「志木」「ふじみ野」「大宮」からも出ています

HOTキラリ

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ情報誌

2025年 10月号 Vol.90(10-1月)

10 October 2025

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

キラリ☆かげき団
公演作品一覧

1「ライオン」
2「MAGANON」
3「またまた平和」
4「うたものがたり」
5「ロゼットの夢」
6「ロゼットの夢」
7「またまた平和」
8「ライオン」
9「ライオン」
10「ライオン」
11「ライオン」
12「ライオン」
13「ライオン」
14「ライオン」
15「ライオン」
16「ライオン」
17「ライオン」
18「ライオン」

キラリ☆かげき団 第19回公演『森は生きている』 2025 11/29土・30日 両日14:00開演

出演:キラリ☆かげき団 ピアノ:東 秋幸 原作:サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)
台本・作曲:林 光 演出:白神 ももこ 音楽監督:萩 京子

1954年に劇団俳優座で日本初演されて以来、時を経てもなお人々に愛され続ける『森は生きている』。1992年にオペラ版が作曲され、オペラシアターごんにゃく座の大切なレパートリー作品の一つとして上演され続けている本作に、活動開始から20年目を迎えるキラリ☆かげき団が挑戦します。

会場:マルチホール チケット発売日:9月27日(土) 料金 大人 2,000円 こども(3～18歳) 1,000円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。

スケジュール等のイベントの詳細は、当館HPをご参照ください。



「狩場の悲劇」の印象を教えてください。

溝端 ロシアの富裕層の人間模様が、チェーホフの鋭い切口で描かれているミステリーで、ページをめくる手が止まらなくなるような魅力があります。僕が演じるカムイシェフは、人間的に秀でている部分と欠落している部分がはっきり分かれているような、なかなか癖のある役です。この小説は人間的なぬくもりみたいなものは感じづらいなと思っていて。永井さんの作品は、日本人的な“あたかみ”みたいなものがダイレクトに伝わってくる作品が多いと思うのですが、そんな永井さんがこの小説を戯曲化することで起きる化学反応がとっても楽しみです。

門脇 ミステリーと言いつつ、実はからくりはとっ

その悲劇は、恋の形をしていた。若きチェーホフの恋愛ミステリー 本邦初の舞台化

「どこにも妥協がない、満足のキャスティング」と永井さんが話す4年ぶりの新作。7月末に行われた取材会では、二兎社に出演経験のある溝端さんが、初参加となる門脇さんをリードしながらお話をしてくださいました。



溝端 淳平（俳優） × 門脇 麦（俳優）

溝端 13年ぶりですね。『こんばんは、父さん』で、平幹二郎さんと佐々木蔵之介さんとの3人芝居に呼んでいただいたから。今思い返しても、とんでもない経験をさせていただいたんだと。あの経験が人生の糧になってるな、と、年を重ねるごとに感じていたので、再び永井さんからお声をかけていただけて、非常に嬉しく思っています。

門脇 永井さんとお会いして、作品の構想を伺って、その場ですぐ「やります」とお返事しました。出演は初めてなのですが、何作品か観させていただいて。絶対いつか一緒にさせていただきたいと思っていたので、今は、楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り混じっています。

溝端 永井さんは全公演を観てくれて、ものすごく丁寧にチェックしてくれるんです。楽屋の扉を「コンコン」と叩く音がトラウマになるくらい(笑)そこまでやってくれる演出家さんってなかなかいないので、そういう環境に再び身を置くのはとても楽しみです。

感する経験が逆に貴重になっているとも言えて。でも役者としては、表現者としての力が一番発揮できるのが、生でできる演劇だと思っています。時間もお金も使うことは面倒かもしれないけど、試しに1回、触れてみて欲しいです。

門脇 チェーホフを本で読むのはなかなか大変だと思うので、観たほうが面白いと思います。

溝端 前回もいろんな劇場に行かせていただいて、それぞれの劇場によって客席の反応が違うということも学ばせていただきました。演劇は、劇場との出会い、街との出会いから日々変化すると僕は思うので、この劇場で、この場所だからできる一期一会の出会いを楽しみにしています。

全国各地、たくさん場所で公演されますね。

門脇 いろんな方に観ていただきたいですが、私たちが出ていることをきっかけに若い人に劇場に足を運んでもらいたいと思います。

溝端 僕は和歌山の出身なのですが、幼い頃に演劇を生で見るって習慣はなかったんです。今は、配信で映像を通してお芝居を見ることは、手軽で身近になってきたと思うんですね。ただ、生でお芝居を体

「永井さんは、わからないものをわからないまま、疑問にしたまま帰さない演出家なので、絶対にいいものをギフトしてくれると思います。ぜひ永井さんの演出でチェーホフデビューしてみてください。」永井さんに絶大な信頼を寄せる出演者のお2人。

「昨日の夜、長いこと停滞していた部分の解決策が見つかったんですね」と、永井さんは執筆中のリアルな状況を話してくださいました。

舞台化しようと思ったきっかけを教えてください。

チェーホフの戯曲も好きですけど、小説はもっと好きなんです。実は、別の小説で劇化したいものがあった、インターネットでチェーホフのことをいろいろ調べていたら「狩場の悲劇」をおすすめされて。「パートタイマー・秋子」もよくおすすめされるのですが(笑)チェーホフは原文が全文公開されているので、AI翻訳をベースに劇化しました。チェーホフが24歳のときに書いた小説で、当時のロシアでは、推理小説が流行っていたそうなんです。新聞社が売上を伸ばすために連載小説を載せていて。まだ世間的に評価を受けていなかったチェーホフにはちょっと野心があって、いわゆる推理小説とは違う構造をしているんですね。溝端さんが演じるカムイシェフは予審判事なのですが、自分が体験した事件を元に推理小説を書き、それを新聞社に持ち込む。小説が進行するごとに、編集長が「註釈」と言う形で突っ込みを入れるんです。その斬新な構造を私も取り入れて、戯曲を描いています。

日本を舞台にしていないのは珍しいですよね？

どんなに有名な作品でも、今観るべき普遍的な価値を感じられないと面白くないですよね。この作品は1872年のロシアを舞台にしていますが、チェーホフが書いたものは、普遍性においてはお墨付きなんです。チェーホフは俗物が大嫌いなんですよ。「人間が100人いれば99人が俗物だ」と、ある小説に出てく

るんですけど、彼は実人生でそう感じていたんでしょうね。特に社会的地位の高い人の俗物っぷりがものすごくおかしく描かれていて、生活苦の中でも、その部分はニタニタしながら書いていたんじゃないでしょうか。ちょっとだけまともな人が、その俗物のためにひどい目に合う。変革の意志を持った青年がどんどん挫折して冷笑的な態度になっていく。これは、今、日本で起きているいろんなことにも通じると思って、古くならないんですね。

これまでの作品と違いはありますか？

芝居は他人の人生を疑似体験する、体験型の芸術だと思っています。画面などを通さずに、生の人間が目の前で演じているので、登場人物の人生に立ち会っている気分になれる。いつの時代のものであろうと、もし自分がこういう状況に置かれたらどうなるだろ



料金(全席指定) 一般 5,000円 U-25 3,500円 高校生以下 1,000円 ※未就学児童の入場はご遠慮ください。
身体障害者手帳をお持ちの方(窓口・前売のみ) 4,000円

二兎社『狩場の悲劇』

2025/11/1土 14:00開演(13:30開場)

会場 メインホール 〈チケット発売中〉
溝端淳平 門脇麦 玉置玲央 亀田佳明 大西礼芳 加治将樹 岡田地平 ホリユウキ 水野あや 石井愼一 佐藤誓

ハーツウインズ × キラリふじみ

吹奏楽で聴く 映画音楽の世界

演奏 ハーツウインズ



会場 メインホール

2025/10/5日 14:00開演(13:30開場)

料金(全席指定) 大人 3,500円 高校生以下 1,000円
〈チケット発売中〉 ※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※映像による演出はございません。

迫力の生演奏で物語の名場面の数々が蘇る！

映画界の巨匠、スティーブン・スピルバーグやジョージ・ルーカスの作品で多くの音楽を手掛けた作曲家、ジョン・ウィリアムズ。スタジオジブリ作品をはじめ、優しいメロディと緻密なサウンドで世界中の人々の心を掴む、久石譲。物語に深い彩りを添え、聴き手を未知なる世界へ導く2人の作曲家が生み出す旋律は、映像を超えたさまざまな情景を描き出し、圧倒的な感情を呼び起こします。そんな壮大なスケールで表現される音楽を、豊かな音色と緻密なアンサンブルが織り成すパワフルなサウンドで、たっぷり堪能できるコンサートです。こどもから大人まですべての方にお楽しみいただけるプログラムです。ぜひ会場でお楽しみください。

久石譲
天空の城ラピュタ
となりのトトロ
魔女の宅急便
もののけ姫
千と千尋の神隠し
ハウルの動く城

ジョン・ウィリアムズ
スター・ウォーズ
ジュラシック・パーク
ハリー・ポッターと賢者の石
インディ・ジョーンズ
スーパーマン

キラリふじみ
錦秋狂言
万作の会

◆小舞『八島前』◆狂言『清水』『泣尼』◆

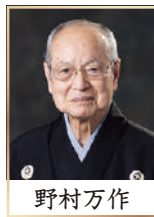
笑いを通して人間の普遍的なおかしさを描く—

毎年好評をいただいている万作の会の狂言公演。謡と洗練された型による身体表現で、しなやかに情景を描く狂言小舞「八島前」。主人から命じられた仕事に気が進まない太郎冠者が嘘に嘘を重ねてしまう様が見どころの「清水」、説法の苦手な僧が自分の談義をひきたたせるために涙もろい尼を雇った結末に注目の「泣尼」と、3曲をお届けいたします。野村萬斎による上演前の「解説」では、狂言の世界に親しみやすく、お馴染みの方にはより深くお楽しみいただけるよう、演目の見どころを丁寧に話します。紅葉深まる秋の一夜に、伝統芸能・狂言を通じて笑いのひとときを存分にご堪能ください。

11/14金 19:00開演(18:30開場)

会場 メインホール 〈チケット発売中〉※未就学児童の入場はご遠慮ください。

料金 一般 5,000円 U-25 3,500円 高校生以下 1,000円
(全席指定) 身体障害者手帳をお持ちの方(窓口・前売のみ) 4,000円



石田幸雄 深田博治・高野和憲 岡聡史・中村修一 飯田豪 内藤連・福田成生

ふじみ
大地の
収穫祭

第八回

11/23祝 10:00-15:00



豊かな自然と人が織り成すコラボレーション、それがわがまち富士見の農業。

富士見市で長きにわたり農業を営む方、商業を営む方、そしてお囃子などの郷土芸能を守り伝える方など、このまちの文化を育んできた、「富士見の様々なコツ」を知る実行委員会の皆さんとつくる「ふじみ大地の収穫祭」。今年も「お米」をテーマに、「見る・知る・やってみる」をふんだんに盛り込んだ企画をご用意しています。富士見の食と芸能を丸ごと楽しめるお祭り「ふじみ大地の収穫祭」の開催をどうぞお楽しみに！

入場無料